



SAFETY DATA SHEET

安全データシート

1 製品名 ピュアメッキン A-1

2 製造者情報

会社名 : 株式会社リアライズ
住所 : 〒107-0062 東京都港区南青山 2-22-4 708
電話番号 : 03-3470-8708 (FAX03-3470-8709)
作成(改訂) : 2024 年 5 月 30 日
整理番号 : 20021-06

3 危険有害性の要約

GHS 分類:

物理化学的危険性	酸化性液体	区分2
健康有害性	急性毒性(経口)	区分4
	急性毒性(経皮)	区分3
	急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	区分3
	皮膚腐食/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
	生殖細胞変異原性	区分2
	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分2(呼吸器、腎臓)
	特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分2(心臓、血液)
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分1
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分1

上記で記載がない危険有害性は区分に該当しないか分類できない。

GHS ラベル要素



注意喚起語

危険

危険有害性情報

火災助長の恐れ(酸化性物質)

飲み込むと有害

皮膚に接触すると有害

吸入すると有害

皮膚刺激

強い眼刺激

遺伝性疾患のおそれの疑い

呼吸器、腎臓の障害の恐れ

長期に亘るまたは反復暴露による心臓、血液の障害のおそれ

長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

4 物質の特定

単一成分・混合物の区別 : 混合物

成分	官報公示番号	CAS No	国連分類
亜塩素酸塩	1-238	7758-19-2	クラス8
水酸化物塩	登録保証	登録保証	該当しない

5 応急処置

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。眼の刺激が続く場合は医師の処置を受ける。

皮膚に着いた場合 : 直ちに大量の水で洗い流す。

飲み込んだ場合 : 直ちに口をすすぐこと。気分が悪い時は医師の処置を受ける。

6 火災時の処置

消火方法 : 内溶液は不燃性であるが、液が可燃物に染み込み乾燥、発火すると酸素を放出し極めて迅速に燃えるので、空気を遮断する方法は殆ど無効である。消火には大量の水がもっとも有効である。

消火剤 : 大量の水。

7 漏洩時の措置

すぐに他の容器に回収し、汚染場所に亜硫酸ナトリウム水溶液またはチオ硫酸ナトリウム水溶液を散布して水で洗浄する。

8 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 有機物、強酸、還元物質、金属粉との接触を避ける。有害な二酸化塩素ガスを発生することがあるので、換気を充分に行う。
- 保管 : 保管場所で火気を使用しないこと。直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。

9 暴露防止措置

- 管理濃度 : 未設定
- 許容濃度 : 未設定(日本産業衛生学会、ACGIH)
- 防止対策 : ハロゲンガス用防毒マスク、保護眼鏡、ゴム手袋、保護衣を着用。

10 物理的及び化学的性質

- 外観 : 淡黄色透明液体
- 比重 : 1.05 ± 0.05
- pH : 12.5 ± 0.5
- 凍結温度 : -4°C

11 安定性及び反応性

常温およびアルカリ性で安定。還元物質、強酸と反応し二酸化塩素ガスを発生する。

12 有害性情報

- 急性毒性 : 経口 ラット LD_{50} 165 mg/kg

13 環境影響情報

高濃度においては魚類、植物を侵す恐れがある。

14 廃棄上の注意

廃棄する場合は、亜硫酸ナトリウムまたはチオ硫酸ナトリウムで中和した後、産業廃棄物として廃棄する。

15 輸送上の注意

容器が破損したり、漏れないように注意して取り扱うこと。(国連番号 1908)

16 適用法令

毒物劇物取締法 非該当

消防法 非危険物

化学物質管理促進法 (PRTR) 非該当

労働安全衛生法 法 57 条の 2 名称等を通知すべき危険物に追加検討 (令和 5 年度)

記載内容については、現時点で入手できる資料、情報およびデータに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載内容は当該化学製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従いまして、当該化学製品を取り扱う事業者は、個々の取扱い等の実情に応じた適切な処置を構ることが必要であることを理解した上で、この製品安全データシートを活用されるようお願いいたします。